おうえんします うだぢから

「うだぢから」とは、宇陀に従来からある地域コミュニティの力（宇陀力）のことです。
このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」やNPO団体などを紹介します。

問 地域振興課 ☎82・3910/IP☎88・9094

❶龍王ヶ渕奉納コンサート ～堀越神社への奉納～ ～向渕地区まち協～

5月22日の昼下がり、室生向渕にある自然豊かな龍王ヶ渕内にて「堀越神社」への奉納コンサートが行われました。

このコンサートは、龍王ヶ渕を静かに見守る「堀越神社」＝「トヨタマヒメ」へ奉納される音楽イベントです。物語にある「トヨタマヒメ」は天皇家直接のご先祖様にあたる神様であり、山や海にとても深いかかわりがある方です。

コンサートは、和太鼓演奏から始まり、「NPO法人音楽の森」理事長荒井敦子さんや村尾藍さん（まつぼっくり少年少女合唱団出身）の歌唱や「豊玉姫物語」の朗読もありました。平和を願うウクライナ民謡の「キエフの鳥の歌」や「龍王ヶ渕の物語」も演奏され、奉納される澄んだ歌声に聴き入る方も多く、大自然を身近に体験できるコンサートとなりました。

▲大勢の方が演奏や歌声に聴き入っていました

コンサートに参加していただいた皆さんに「来てよかった宇陀市」「また来たい宇陀市」と思っていただけるように、当まち協をはじめ、向渕自治会や地域の方々の理解とご協力のもと、堀越神社での客席の設営、受付、車の誘導や広報など精一杯おもてなしをさせていただきました。

❷移動診療車内覧会開催 ～上龍門地域まち協～

6月8日、当まち協では、田原区集会所において移動診療車内覧会を開催するとともに、今後のスケジュールを含めた運営委員会が開催され、診療場所の選定、相談日の実施について協議を行いました。この地域での医療機関は、平成30年に個人医院が閉院となり、医療体制の充実が望まれていました。このような中で、田原地区の集会所が診療場所として、選定されました。

今後、この場所で、見学会、相談会を行い、8月から移動診療所を開始していきます。

当まち協では、ボランティア有償バスの「かぎろひバス」の運行も行っています。移動診療車による診療の時も、バスに乗り合わせて来てもらえれば、行き帰りも便利です。

当まち協ではこれからも、安全で安心できる地域づくりを目指して、取り組んでいきます。

▲初めて目にする楽器もありました！

▼最新の医療機器が揃っていました

▲田原区集会所に移動診療車がやってきました！

向渕地区には云い伝えや歴史が古く、これらを後世に残していこうと日々活動しています。

❸宇陀の野菜を使った採食カフェの開業を目指して ～宇陀市仕事づくり推進隊～ （ネクストコモンズラボ奥大和）

宇陀市の皆さんはじめまして。宇陀市仕事づくり推進隊の宮本美妃子です。

食とサステイナビリティのプロジェクトとして採用いただき、2021年5月より地域の食材や薬草を使用したカフェの開業を目指して活動しております。

6月にアメリカのヴィーガン料理を専門とする料理学校を修了し、現在は望診法やフィトテラピーといった食と健康について勉強中です。2023年にお店をオープンできるよう、今年の夏はサステイナビリティおよびヴィーガンが先進的であるアメリカへ行き、さらにレベルアップして参ります！

▲宇陀市の食材と薬草を使用したヴィーガン料理

▶バリスタも勉強中です

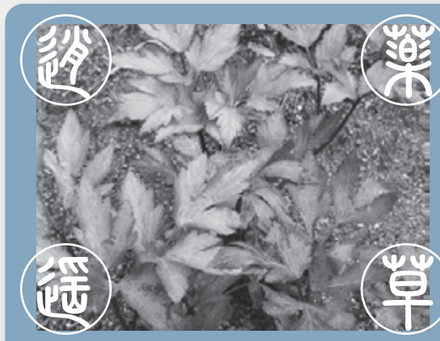
まち協などの催し予定 7月

（6月14日現在）

日程	イベント案内	主催
16日（土）	資源ごみ回収	大宇陀政始まち協
30日（土）	認知症勉強会	向渕地区まち協

薬草逍遥（やくそうしょうよう） ～ケイトウ～

毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。



あちこちの庭に、観賞用に植えられているケイトウやノゲイトウ。植えたつもりもないのに、気が付けば生えていたということもあるでしょう。

ケイトウの頭部の花軸は多くが帯化し、上部は著しく広がって鶏のとさかのようになるので、鶏頭（ケイトウ）の名が付いたのです。

赤色、黄色、白色などの小花を密生しますが、一般に、白色または赤色の花のものを薬用とします。

このケイトウには鶏冠（ケイカン）という生薬名が当てられ、花の塊は鶏冠花、種子は鶏冠子として、1092年に書かれた「嘉祐補注本草」に掲載された、比較的新しい生薬です。

ケイトウは熱帯アジアからインドが原産の植物で、万葉の時代に中国から日本に伝来したため、万葉集には「からあい」の名で山辺赤人の歌にも書かれています。

ケイトウは、4～5月ごろに播種し、栽培します。日当たりと水はけの良い所を好みます。

薬用効果は、花や種子を煎じて服用すれば、痔出血、月経過多などの各種出血、下痢などに効きます。この染液を外用すれば、切れ痔、痔瘻（じろう）にも効果があります。

▲赤い綺麗な花を咲かせるので、鑑賞用にも目を楽しませてくれますね。
※当市で「薬草活用講演会」をしていただいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工産業課 ☎82・5874／IP☎88・9075